



北から南から



平成 22 年 10 月の第1回以来、毎年開催している

8) 「おたがいさま」カード
平成 27 年度より県老連の助成を受けて友愛活動の取り組みを強化しています。会員外を含む地域の高齢者宅への声かけ訪問をする際は、女性委員の有志が制作した手土産と一緒に「おたがいさま」カードを配布します。このカードには、緊急連絡先・親し

「孫が家で話してもくれん」という声があつたことから、孫との会話のきっかけづくりになればと開始しました。日頃ふれあうことの少ない中学生と一緒に活動出来るので、全会員はもちろん、会員外にも参加を呼びかけています。

私たちの地域内は高齢者なしでは立ち行かない状況にあります。だからこそ地域内のリ

ーダーとして、一人ひとりは弱い立場でもつながることで強くなれるという風土を醸成し、住み慣れた地域でいきいきと活動していく老人クラブでありたいと思います。

い友人・かかりつけ病院・担当民生委員などを記入します。玄関先で確認しながら一緒に記入して、電話の横に貼つてもうようになります。

(会長 岡村省)



若手委員会を中心、会員外も誘つて活動

島根県津和野町 日原地域老人クラブ連合会

● クラブ数 18 クラブ

● 会員数 690 名 (男性 275 名、女性 415 名)

島根県
津和野町

地域は島根県西部に位置し、山口県との県境にある山間地です。平成 17 年の市町村合併により津和野町、日原町の 2 町が合併して新「津和野町」として発足、翌 18 年に老連も合併しました。山陰の小京都と呼ばれる町です。

老連ではさまざまな活動に会員外を誘い、一緒に参加出来るように常に心がけています。また、いろいろな専門知識を持つた方が、会員にも会員外にも大勢おられるので、知識をお借りしています。

最初は「老人クラブへ入って」とは言わず、各種行事のお手伝いをお願いしたり、行事慰労会に参加してもらうことで、老人クラブ活動の楽しさを知つていただき、親しくなつて

から入会を勧めています。

若手の「活動の場づくり」から生まれた各種活動

若手会員を増やすことが重要と考え、若手委員会活動を活性化するために「活動の場づくり」について検討しました。当初は各クラブに若手委員は 1 名ずつでしたが、1 名では出かけにくさを感じることから、平成 28 年度より 2 名ずつ設置しています。

多くの地域で週 1 回程度開いているサロン活動では、参加したいけれど移動手段がないために参加出来ない人を、若手委員が車に乗

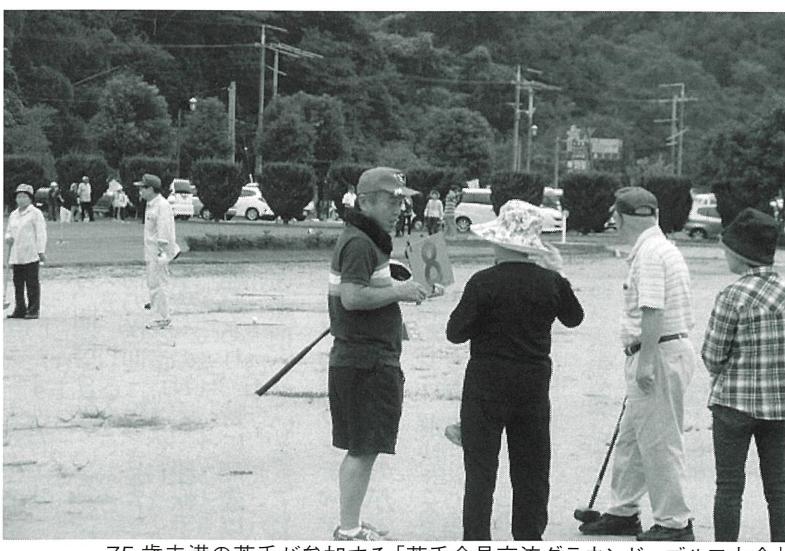
せて送迎することで参加を可能にしています。その他、若手委員会では、次のような活動を行っています。

1) 町長との懇話会

町政と直接つながるために「町長と語る会」を実施。75 歳未満の会員に呼びかけて質問を募集して、町長と交流を行いました。

2) 広報誌作成「なでしこ編集部」

全会員に配布する広報誌作成のため「なで



75 歳未満の若手が参加する「若手会員交流グラウンド・ゴルフ大会」



声かけ訪問の際の、女性委員手作りの土産品

3) 体力測定会
健康づくりのための体力測定を、各単位老人クラブで手軽に取り組めるようにするために、若手委員に対する指導者講習会を開催しました。測定会は各地区で年 1 回以上、会員外の高齢者も含めて実施しています。

4) 若手会員交流グラウンド・ゴルフ大会
75 歳未満の会員で競う若手会員交流グラウンド・ゴルフ大会の開催。主たる目的を

しこ編集部」を 8 名で立ち上げ、若手会員を中心を作成しています。年 2 回発行。

5) 福祉大会

若手委員を主体として福祉大会を開催・運営。会員相互の親睦・情報交換を図るとともに、行政へ老人クラブ活動を P.R. する場にもなっています。

6) 交流旅行

多世代で参加できる事業として、会員外を含む旅行（1泊 2 日）を実施。気兼ねなく参加できることが魅力になつており、参加をきっかけに加入を勧めています。

7) ふれあい健康スポーツ大会

「孫が家で話してもくれん」という声があつたことから、孫との会話のきっかけづくりになればと開始しました。日頃ふれあうことの少ない中学生と一緒に活動出来るので、全会員はもちろん、会員外にも参加を呼びかけています。

8) 「おたがいさま」カード

平成 27 年度より県老連の助成を受けて友愛活動の取り組みを強化しています。会員外を含む地域の高齢者宅への声かけ訪問をする際は、女性委員の有志が制作した手土産と一緒に「おたがいさま」カードを配布します。このカードには、緊急連絡先・親し